

# 第5次入間市総合振興計画の総括について

## 1 概要

平成28年度に計画期間が終了した「第5次入間市総合振興計画・後期基本計画」の成果を検証するために、別紙「評価書」を策定しました。

これは、①行政の主観的評価としての施策体系ごとの事業評価、②あらかじめ設定した評価指標に基づく目標値に対する達成度評価、③計画期間内に実施された市民意識調査を分析した市民の客観的評価という、3つの違った視点での評価を比較分析することで、後期基本計画を総括したものです。

なお、この後期基本計画は、第5次総合振興計画の「基本構想」の枠組みに基づいて、策定当時に計画期間内であった前期基本計画における事業を、当時の進捗状況と達成度の評価から分析・整理した上で策定しています。したがって、後期基本計画を総括することで、前期基本計画を含めた10年間の総合振興計画全体の総括をすることになるという考え方のもとに評価・検証をしました。

今後の市政運営において、第5次総合振興計画の成果を活かしていくためには、この総括における検証を踏まえて、平成29年度からスタートした第6次総合計画を推進していくことが重要です。

## 2 評価方法

第5次入間市総合振興計画後期基本計画の評価については、別紙「評価書」の通り、次の3つの方法で行いました。

### ① 事業評価

後期基本計画は7つの部門に43の分野を配置し、428の事業を掲げて計画の推進を図りました。この評価は、事業ごとの進捗状況及び今後の方向性について、行政内部における自己評価としました。

### ② 評価指標による評価

後期基本計画では、分野ごとの数値目標としてあらかじめ181項目（平成25年度から180項目）の評価指標を設定して、毎年達成度を確認していました。ここでは、5年間の総括として最終目標値に対する達成度を集計し、5年間の成果を評価しました。

### ③ 総合振興計画と市民意識との相関関係

総合振興計画と市民意識との相関関係について市民意識調査の結果から平成27年度に分析を行いました。市民意識調査については、直近の結果を今回の後期基本計画の総括に当たって分析することが望ましいのですが、後期基本計画の中間評価の後には市民意識調査を行っていないため、中間評価時の分析をここで紹介するものです。分析に当たっては、後期基本計画の進行管理のために実施した市政意向調査の結果も利用しています。

## 3 総括

第5次入間市総合振興計画・後期基本計画の成果に対して、それぞれの手法による評価を比較しながらまとめてみました。結果を見てみると、事業評価の進捗度、評価指標の達成率、市民意識調査の評価とも前期基本計画の総括と同様の傾向になる分野・項目が多くなりました。

前期基本計画の総括の中で「事業の選択と集中を大きな課題と捉えて、より効果的で効率的な事業の推進が求められます。」としましたが、変わらぬ厳しい財政状況の中で経常的な支出の割合が高止まりし、予算を柔軟に配分して施策に取り組むことが難しくなっている傾向が続いているものと考えられます。

後期基本計画期間の後半においては、人口減少対策である「まち・ひと・しごと・創生総合戦略」や今後の公共施設の再整備・維持管理の拠り所となる「公共施設等総合管理計画」が策定され、第6次総合計画期間内ではこれらに基づく取組が本格化します。歳入と歳出のかい離の傾向は今後も続くとも推測される中で事業展開を図らねばならず、前述の「事業の選択と集中」は今まで以上に求められることとなります。同計画を推進するうえで、この評価書もそのための基礎資料として活用を図っていきたいと考えています。